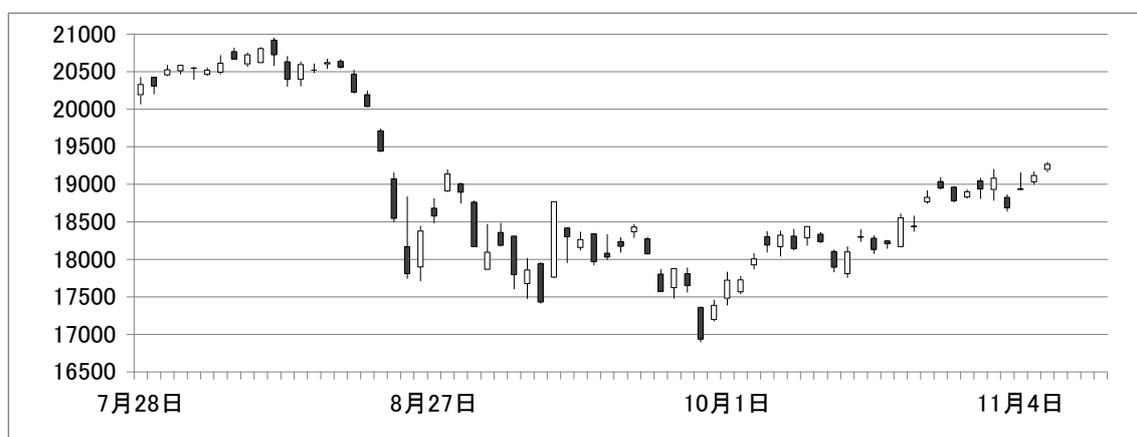


株式市場概況

先週の動き（11月2日～11月6日）

日経平均株価はもみ合いの展開となった。週初、海外株は堅調だったが、日本株は依然としてザラ場に売り込まれる動きが目立った。水曜日、注目された郵政3社のIPOは買いが優勢となり、大きく値上がりする展開となった。大型IPOが堅調に推移していることや、米国の政策金利の引上げを織り込む動きによってドル円が円安に動いていることなどから、相場の雰囲気は徐々に良くなり、木曜日以降、これまで中々引値で上回れなかった日経平均株価19,000円を上回って引けるようになった。結局、日経平均株価は前週末比0.96%の19,265円で一週間の取引を終えた。

日経平均株価（2015年7月28日～）



セクター別の上昇率はガラス土石がトップ。企業決算が好感された。保険、小売、鉱業などがそれに続いた。下落率トップはパルプ紙。企業決算が期待に届かなかったことが原因だった。その他には不動産、建設業の下落が大きくなった。タワーマンションを使った相続税の節税に対し、課税が強化されるという報道を要因にこれら2つのセクターに売りが目立った。

スタイルインデックスでは、大型株が上昇する一方で、小型株は下落した。郵政3社のIPOが堅調であることから、個人が保有している小型株を売って、郵政3社の株を買うというような動きがあったと推測される。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

セクター動向(先週末比)			各種国内株式指数動向(先週末比)		
ガラス土石	3.79%	パルプ紙	-4.97%	日経平均株価	0.96%
保険	3.19%	不動産業	-3.85%	TOPIXスモール	0.16%
小売業	2.45%	建設業	-2.22%	コア30	0.56%
鉱業	2.06%	電気ガス	-1.85%	ミッド400	0.03%
電気機器	2.00%	陸運	-1.84%	TOPIXL70	0.50%
医薬品	1.76%	その他金融	-1.48%	TOPIXグロース	0.47%
				東証2部	-0.29%
				TOPIX	0.35%
				REIT指数	-0.80%
				マザーズ	-2.41%
				TOPIXバリュー	0.22%

今後の注目点

先週の米国の経済指標はそれ程悪いものもなく、債券市場などでは12月のFOMCでの政策金利引き上げの可能性が高まっていることを織り込み始めている。政策金利はそろそろ引き上げるべきというのが大方の見方だ。世界的な市場の混乱も一段落し、市場の混乱の原因になった中国も追加緩和を行なった。12月にはECBも追加緩和を行なうということで、米国がゼロ金利を止めても世界の資金量は減少しないだろう。

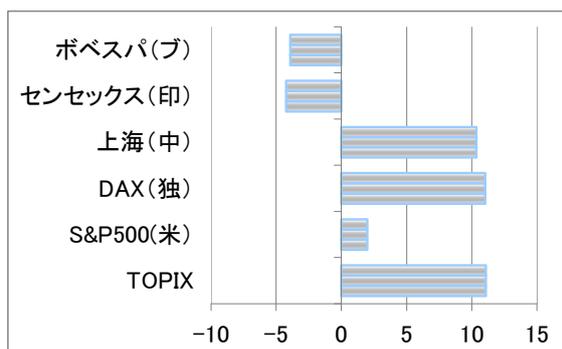
米国が量的緩和を止める時もECBなどの追加緩和により、世界の資金量は変わらなかった。実際、金融市場では混乱が見られなかった。今回もその時同様、FRBが実際に金利の引き上げに動く時には、資産価格の大きな変動は見られないと想定される。

それよりも問題は、米国のゼロ金利が継続することだろう。米国の景気が悪化するのであれば、利上げは行なわれまいだろうが、そうすると、どこの国が世界経済を牽引するのかという問題が浮上する。米国、中国がそれを出来ないのであれば、どこがそれを担うのか。今のところその答えは見つからない。

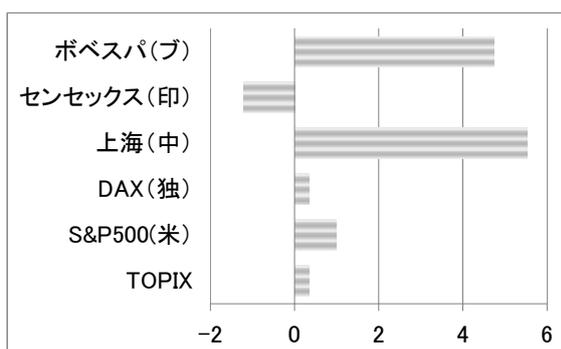
日本では少しアベノミクスに失望が感じられるが、今後、規制緩和が積極的に行われることが報道されており、再びアベノミクス期待が膨らむ場面があると考えられる。補正予算も打たれるようなので今後、株価が高くなる展開を想定しているが、依然として株式市場の過熱感は強いいため、新規の買いは今のところ手控えたい。

資料 各国株価動向

年初来上昇率（% 値は6日引け時点）



前週末比（% 値は6日引け時点）



株式市場需給動向（10月5週：10月26日～10月30日）

10月5週の投資主体別売買動向は海外投資家、都銀・地銀、事業法人が買い越し、投資信託、信託銀行が売り越しとなりました。信用買い残高は165億円の増加。信用買い残高の評価損益率は-9.82%と前週比で0.4%ほど回復した。裁定買い残高は1209億円増加した。

投資主体別売買動向（2015年10月5週）

	現物（億円）	先物（億円）	差引（億円）
自己	1842.69	-1363.97	478.73
委託	-1718.61	1076.89	-641.72
自己・委託合計	124.08	-287.07	-162.99
法人	-1332.07	-1587.02	-2919.09
個人	-1260.76	687.62	-573.14
海外投資家	912.45	1973.96	2886.41
証券会社	-38.23	2.33	-35.90
投資信託	-269.51	-1519.99	-1789.50
事業法人	259.55	58.68	318.23
その他法人	43.00	17.69	60.69
金融	-1365.11	-143.40	-1508.51
生保・損保	-144.22	-157.54	-301.76
都銀・地銀	-144.72	649.34	504.62
信託銀行	-1192.36	-628.51	-1820.87
その他金融機関	116.19	-6.69	109.51

（価格データはブルームバーグによる）

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会/日本証券業協会